

I-④ いじめに関するその他活動（①～③に分類できない教育実践）

（鳴門教育大学・学校教育学部・大学院学校教育研究科）

**【大学院学校教育研究科 吉井健治教授，久米禎子講師，小倉正義講師の活動】**

鳴門教育大学大学院学校教育研究科 吉井健治教授，久米禎子講師，小倉正義講師が，教育実践フィールド研究の実習の一環で，徳島県教育委員会・徳島市教育委員会と連携して，不登校・ひきこもりの子どもたちへの訪問臨床事業（ライフサポーター・学生メンタルサポーター）を行っている。

## I-④ いじめに関するその他活動（①～③に分類できない教育実践）

（鳴門教育大学・学校教育学部・大学院学校教育研究科）

### 【鳴門教育大学予防教育科学センターの活動】

鳴門教育大学予防教育科学センターでは、いじめ、不登校、校内暴力など適応上の問題は、すべて同じ心的特性の歪みから生まれていることを科学的に明らかにし、いじめを初めこれらの問題を総合的に予防する予防教育プログラムを開発した。

いじめの問題は、ひとりいじめの問題だけを考えていては、抜本的な対策にはならない。これまでのいじめ教育は、いじめ加害者や傍観者の歪んだ特性を改善、育成できるものではなく、目下の環境下でいじめ行動を阻止する、一時的な効果を持つにすぎない。

鳴門教育大学では、このような教育を総合して、ベース総合教育と呼んでいる。これに対して、特定の問題の予防に焦点を当てた予防教育も開発し、オプション教育と呼んでいる。その中には、いじめ予防に特化した「いじめ予防プログラム」も開発され、実践されている。

ベース総合教育は、小3～中1まで、連続して計160時間実施できもので、きわめて規模が大きく効果も大きい。これに対して、オプション教育は、いずれかの1学年で1学期ほど実施し、速効の効果は望めるが持続的な効果はベース総合教育に劣る。

こうして、センターでは、わが国におけるいじめ問題を抜本的に解決するためにベース総合教育を推奨し、実施している。

以下は、過去3年間に実施した教育である。

### 平成23年度

#### 【小学校】

鳴門市林崎小学校 5月～6月	ベース総合教育	向社会性の育成
鳴門市堀江北小学校 5月～6月		感情の理解と対処の育成
鳴門市鳴門西小学校 5月～6月		向社会性の育成
鳴門市明神小学校 6月		自己信頼心(自信)の育成
鳴門市桑島小学校 6月～7月		向社会性の育成
鳴門市鳴門第一小学校 6月～7月		向社会性の育成
阿南市立平島小学校 9月～12月		自己信頼心(自信)の育成 感情の理解と対処の育成
藍住町藍住南小学校 10月		自己信頼心(自信)の育成
北島町立北島南小学校 10月～11月		感情の理解と対処の育成
鳴門市大津西小学校 10月～11月		向社会性の育成
鳴門市板東小学校 10月～11月		感情の理解と対処の育成
鳴門市里浦小学校 12月		感情の理解と対処の育成
北島町立北島北小学校 12月～1月		自己信頼心(自信)の育成
藍住町藍住北小学校 1月		向社会性の育成
鳴門市黒崎小学校 2月		自己信頼心(自信)の育成

【中学校】

鳴門教育大学附属中学校 1月～2月

自己信頼心(自信)の育成

平成 22 年度

【小学校】

徳島県阿南市立平島小学校 11月～12月

ベース総合教育

自己信頼心(自信)の育成

鳴門市第一小学校 6月～10月

オプション教育

抑うつ予防

徳島市立内町小学校 6月～7月

オプション教育

非行予防

徳島市一宮小学校 10月～年7月

オプション教育

食習慣改善と育成

【中学校】

鳴門教育大学附属中学校 1月～3月

ベース総合教育

感情の理解と対処の育成、向社会性の育成

平成 21 年度

鳴門教育大学附属小学校 10月～3月

ベース総合教育

自己信頼心(自信)の育成

感情の理解と対処の育成

向社会性の育成』

ソーシャル・スキルの育成

鳴門市鳴門第一小学校 6月～10月

オプション教育

生活習慣病予防)

鳴門市撫養小学校 6月～7月

オプション教育

いじめ予防

鳴門市鳴門西小学校 6月～9月

オプション教育

ストレス予防

各学校での各教育は、ほぼ8時間の時数実施された。

I-④ いじめに関するその他活動（①～③に分類できない教育実践）

（香川大学・教育学部）

氏名：加野芳正

いじめ問題（ネットいじめ）に関する新聞記事でのコメント 読売新聞

朝の日本テレビの番組ZIP で いじめ問題にコメント

瀬戸内海放送のニュース番組で、いじめ問題についてのインタビュー

雑誌「教職研究」において、大津のいじめ事件から何を学ばなければならないか、緊急提言。

朝日新聞日曜版の読書欄「ニュースの本棚」で、拙著『なぜ、人は平気で「いじめ」をするのか？』が取り上げられた。

#### I-④ いじめに関するその他活動（①～③に分類できない教育実践）

（愛媛大学・教育学部）

##### 1. 平成 24 年度「アートミーツケア学会」愛媛大会において

「アートとケアの現場から教育を問い直す」をテーマとするシンポジウムを開催。

アートとケアによる、いじめ、自殺等の教育課題の解決の可能性について、事例報告を交えて意見交換を行う（平成 24 年 12 月 16 日、愛媛大学にて）。このシンポジウムは一般公開された（会員外の参加者 60 名）。

本学教員（牛山眞貴子、杉林英彦）がその企画，実施にあたった。

##### 2. いじめのカウンセリング

本学部教員・相模健人（臨床心理学）は、公立校のスクールカウンセラーとして、心理教育相談室（分室）の相談員として、いじめに関するカウンセリングを行っている。また、学生（大学院生）が実習として担当したいじめ相談のカンファレンスにおいてスーパーヴァイズを行っている。

##### 3. 保護者対象の講演会

本学部教員・相模健人（臨床心理学）は、個々の学校からの依頼に応え、保護者・教員対象の講演会を多数担当し、その中で、特にいじめ問題に焦点づけて「子どもの話の聴き方について」講じている。